

3 火薬類譲受消費許可申請

火薬類譲受・消費許可申請書

申請者 火薬類を譲り受け、消費しようとする者*。

※者とは、個人(自然人)であるか法人であるかを問わない。(「火薬類取締法令の解説」参考)

申請先 譲り受ける火薬類の消費地(消費地が2以上あるときはその主たる消費地)を管轄する消防署(安芸太田出張所含む。)であるが、公海で消費する場合は、消費地を管轄する消防署がないので、譲り受けようとする者の住所地(法人の場合には、その主たる事務所の所在地)を管轄する消防署が申請先となる。(「火薬類取締法令の解説」参考)

譲受消費期間 有効期間は、規程第5条(火薬類の許可手続)第6項により、1年以内とする。

注意事項 JV(共同企業体)の工事に伴う申請の場合、JVそのものが法人格でないため、JVが申請者となることはできない。この場合、個々の法人がそれぞれ申請するか、又は代表の法人が申請する必要がある。(「火薬類取締法質疑応答集:月報第170号」参考)

記入例

様式 C-5

火薬類譲受・消費許可申請書

広島市消防局長 様

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(代表者) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇企画
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

名 称	株式会社〇〇企画				
事務所所在地(電話)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)				
職 業	土木建築業				
(代表者) 住所 氏名 (年齢)	広島市〇〇区〇〇町〇番〇号 〇〇 〇〇 (〇〇歳)				
火薬類の種類 及び数量	爆薬 12,000 kg	電気雷管 1,200 個			
目的	工事名	〇〇〇開発工事	発破対象	岩石発破	
譲受期間 (1年を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日				
貯蔵又は保管場所	広島市〇〇区〇〇町〇番〇号 有限会社〇〇所有地上式一級火薬庫				
消費に関する事項	場 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号			
	日 時 (期間)	令和〇〇年〇〇月〇〇日 令和〇〇年〇〇月〇〇日	(〇〇時~〇〇時)		
	危険予防の方法	別紙のとおり			

・申請者は、法人の場合は代表権のある者(代表取締役等)、個人の場合は本人とする。
・法人の場合で、代表者以外(支店長、所長及び現場代理者等)が申請するときは、委任状の添付が必要である。委任する場合の記入は13、14Pを参考とする。

・名称は、法人の場合は登記簿上の法人名(会社名)を、個人の場合は氏名を記入する。

事務所所在地は、法人の場合は本社所在地、個人の場合は住民票がある場所を記入する。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

・職業は、申請が会社等の場合は産業分類による事業名を、個人の場合は職業を記入する。
例 採石業、土木建設業等
・職業が建設業等の場合で、建設業法等に基づく登録を受けているときは、欄右側に登録番号を併せて記入する。

注 1 職業欄には会社等にあつては、産業分類による事業名を、個人にあつては職業を記載すること。
2 目的欄のうち、工事名については道路工事、宅地造成、銅採取、採石等の別を、発破対象については岩石発破、コンクリート破砕等の別を記載すること。なお、公共事業については具体的に路線名、箇所名および工程等を()内に記載すること。例えば(県道〇〇線改良工事)等
継続(年 月 日 第 号)
3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

3 火薬類譲受消費許可申請

記入例

様式 C-5

火薬類譲受・消費許可申請書

広島市消防局長 様

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(代表者) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇企画
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

名称	株式会社〇〇企画				
事務所所在地 (電話)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)				
職業	土木建築業				
(代表者) 住所氏名 (年齢)	広島市〇〇区〇〇町〇番〇号 〇〇 〇〇 (〇〇歳)				
火薬類の種類及び数量	爆薬	電気雷管			
	12,000 kg	1,200 個			
目的	工事名	〇〇〇開発工事	発破対象	岩石発破	
譲受期間 (1年を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日				
貯蔵又は保管場所	広島市〇〇区〇〇町〇番〇号 有限会社〇〇所有地上式一級火薬庫				
消費に関する事項	場所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号			
	日時 (期間)	令和〇〇年〇〇月〇〇日 令和〇〇年〇〇月〇〇日	(〇〇時~〇〇時)		
	危険予防の方法	別紙のとおり			

注 1 職業欄には会社等にあつては、産業分類による事業名を、個人にあつては職業を記載すること。
2 目的欄のうち、工事名については道路工事、宅地造成、銅採取、採石等の別を、発破対象については岩石発破、コンクリート破砕等の別を記載すること。なお、公共事業については具体的に路線名、箇所名および工程等を () 内に記載すること。例えば(県道〇〇線改良工事)等
継続 (年 月 日 第 号)
3 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

火薬類の種類及び数量は、火薬類消費計画書で算出された内容を記入する。

工事名には採石、道路改良工事、橋梁工事、災害復旧工事等のように実態がわかるよう記入する。

保管場所には、火薬庫の所在地、指定された火薬店の名称及び火薬庫の種類を記入する。

・日時(期間)は、実際に火薬類を使用することが見込まれる期間を記入し、「危険予防の方法」の内容と齟齬がないようにする。
・時刻は、夏期を基準に長めに設定する。
・トンネル等の現場で昼夜兼行の場合は、開始時刻と開始時刻までと記入する。(この場合の1日の消費は、翌日の開始時刻までになる。)

「別紙のとおり」と記入し、別紙「危険予防の方法」に具体的な内容を記入する。具体例は「危険予防の方法(18、19P)」を参考とする。

期限切れ等で継続申請を行う場合は、前回の許可年月日及び許可番号を記入する。

・譲受期間は1年を超えない範囲で、消費期間と同一とする。
・譲受期間(消費期間)を許可日からとする場合は、次の例による。
例1) 日付を空欄にして「許可日から1年間」と記入する。
例2) 自の日付を空欄にして「許可日から」と記入し、至の日付に予定する譲受(消費)終了年月日を記入する。

3 火薬類譲受消費許可申請

火薬類譲受・消費許可申請書（権限委任がある場合）

例) 法人代表者から現場代理人へ権限を委任する場合

記入例

様式 C-5

火薬類譲受・消費許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

広島市消防局長 様

(代表者) 東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇建設
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇
(代理人) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇建設〇〇広島支店
氏名 現場代理人 〇〇 〇〇

申請者欄には、法人代表者氏名と受任者（支店長、所長及び現場代理人等）の氏名を列記する。

名 称	株式会社〇〇建設					
事務所所在地（電話）	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)					
職 業	土木建設業					
(代表者) 住所 氏 名 (年 齢)	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇 〇〇 (〇〇歳)					
火 薬 類 の 種 類 及 び 数 量	爆 薬	電気雷管				
	12,000 kg	1,200 個				
目 的	工事名	〇〇〇開発工事		発破対象	岩石発破	
譲 受 期 間 (1年を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日					
貯 蔵 又 は 保 管 場 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 有限会社〇〇所有地上式一級火薬庫					
消 費 に 関 す る 事 項	場 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号				
	日 時 (期 間)	令和〇〇年〇〇月〇〇日 令和〇〇年〇〇月〇〇日			(〇〇時~〇〇時)	
	危険予防 の方法	別紙のとおり				

注 1 職業欄には会社等にあつては、産業分類による事業名を、個人にあつては職業を記載すること。
 2 目的欄のうち、工事名については道路工事、宅地造成、銅採取、採石等の別を、発破対象については岩石発破、コンクリート破砕等の別を記載すること。なお、公共事業については具体的に路線名、箇所名および工種等を（ ）内に記載すること。例えば(県道〇〇線改良工事)等
 継続(年 月 日 第 号)
 3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

3 火薬類譲受消費許可申請

委任状 (権限委任がある場合)

注意事項

- 1 代表者以外（支店長、所長及び現場代理人等）が申請する場合は、委任状が必要となる。
- 2 法人格を有しない支店が、現場代理人に権限委任を行う場合は、本店から支店への委任状も必要である。

例) 法人格を有しない支店から現場代理人へ権限を委任する場合

1 枚目

(代表取締役社長 → 広島支店長)

記入例

記入例

様式 G-1

委任状

広島市消防局長 様

株式会社〇〇建設 広島支店 広島支店長 ×× ×× を代理人と定め、次の権限を委任します。

〇〇〇〇事業に伴う〇〇〇〇工事において
使用する火薬類の譲受・消費に関する一切の件

令和〇〇年〇〇月〇〇日

委任者

住所 東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

名称 株式会社〇〇建設

氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

受任者

住所 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

名称 株式会社〇〇建設 広島支店

氏名 広島支店長 ×× ××

- 注 1 継続申請の場合は、写しを添付すること。
2 委任内容は、申請内容等に応じたものとする。
3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

2 枚目

(広島支店長 → 現場代理人)

記入例

様式 G-1

委任状

支店 現場代理人 〇〇 〇〇 を代理人と定め、次の権限を

〇〇事業に伴う〇〇〇〇工事において
火薬類の譲受・消費に関する一切の件

委任者

住所 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

名称 株式会社〇〇建設 広島支店

氏名 広島支店長 ×× ××

受任者

住所 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

名称 株式会社〇〇建設 広島支店

氏名 現場代理人 ×× ××

- 注 1 継続申請の場合は、写しを添付すること。
2 委任内容は、申請内容等に応じたものとする。
3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。